

政策推進部 部長マニフェスト

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

私の思い

政策推進部長 松井 久尚

市長のトップマネジメントを支え、第4次柏原市総合計画に基づいて、柏原市の将来像である『市民が生きいきとしにぎわいにあふれているまち 柏原』の実現を目指すとともに、市長公約である5つの「大阪ナンバー1」及び8本の柱に取り組む。



限られた財源の中、積極的な広報戦略に取り組みながら、市民の市政への関心と信頼を高め、市民の視点に立った行政サービスを市民協働により推進することで、市民の満足度アップを図る。

特に生産年齢人口の増減が経済の発展や税収に大きな影響を及ぼすことから、子育て支援と教育の充実、地域産業の活性化など、若者の定住化促進に重点を置いた施策の充実に取り組むとともに、柏原産（もん）のPR戦略を実施し、柏原市の魅力づくり、魅力発信を推進する。

また、多様化する住民ニーズに的確に対応できる職員を育成するため、柏原市人材育成基本方針に基づき、計画的かつ組織的な研修等に取り組むとともに、個々の職員の能力開発につながる人事評価制度の構築を目指す。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

重点課題

- ① 防犯対策の推進
- ② 将来を見据えた行財政改革の推進
- ③ 多様な媒体を通じた広報活動の推進

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

部の施策概要

政策推進部は、「市長のトップマネジメントの補佐」や「全庁的な施策の企画・調整」、「人事政策」、市政の透明化と情報発信、「市民参加と市民協働」などに取り組む。

市長のトップマネジメントの補佐

- ・ 部長会議の定期開催
- ・ 部長マニフェスト等の PDCA サイクルの点検・管理
- ・ 市政に関する課題等の点検・評価
- ・ 市政の透明化と情報発信
- ・ 市長、副市長の行動管理

全庁的な施策の企画・調整

- ・ 柏原市の魅力戦略の推進
- ・ 人口増へ向けた定住化施策の推進
- ・ 行財政改革の推進
- ・ 統計調査

市民参加と市民協働

- ・ 柏原市まちづくり基本条例の運用管理
- ・ 地域担当職員制度
- ・ 国際交流の推進
- ・ 防犯対策の推進

人事政策

- ・ 職員の人事・給与・サービス・福利厚生
- ・ 公務員制度改革の推進

防犯対策の推進

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

戦略課題の目標

子供や女性を対象とした犯罪を抑止するため、市内の防犯灯を明るく経済的な LED 防犯灯へ取替える事業を推進するとともに、町会等に防犯カメラの設置を促し、安全で安心な柏原市を実現する。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

施策推進上の目標

- ※ 1. 町会等が管理する市内の防犯灯を町会等からの要望を踏まえ、予算の範囲内で LED 防犯灯に取替える。
- ※ 2. 新たに補助金制度を創設し、町会等が自主的かつ主体的に行う防犯カメラの設置を促進する。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトプット

- ※ 1. LED 防犯灯取替え事業として、平成 26 年度は 350 本を LED 防犯灯に取替える。(市内約 6,300 本の防犯灯のうち、35%を LED 防犯灯へ)
- ※ 2. 防犯カメラ設置補助事業として、平成 26 年度は町会等が設置する防犯カメラ 20 台に助成を行う。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトカム

市民の犯罪に対する意識が高まり、市内の犯罪が減少し、地域の治安が守られ、市民が安全に安心して暮らしている状態が保たれ、「安全・安心」大阪ナンバー 1 となる。

将来を見据えた行財政改革の推進

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

戦略課題の目標

市民の視点を大切にし、柏原市行財政健全化戦略に基づいて、より積極的な行財政改革を推進することで、多様化する市民ニーズや増大化傾向にある事務量に対応し、市民からの信頼の高い、効率的で効果的な行財政運営を行う。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

施策推進上の目標

- ※ 1. 新改革プランを策定し、経営改善に取り組んでいる市立柏原病院の今後のあり方について、市長部局として検討し、一定の方向性を打ち出すため、市長の附属機関として（仮称）市立柏原病院あり方検討会を立ち上げる。
- ※ 2. 柏原市行財政健全化戦略の集中取組期間 H22～H26 の実績評価を行うとともに、H27 年度以降の課題として、事務事業の統廃合、適正な受益者負担、資産・施設の有効利用、民間活力の導入等について検討する。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトプット

- ※ 1. 平成 26 年度は、（仮称）市立柏原病院あり方検討会を開催し、市立柏原病院の今後のあり方について、年度内に一定の方向性を示す。
- ※ 2. 集中取組期間 H22～H26 の評価表の作成及び第二期集中取組期間 H27～H31 の主要課題を整理する。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトカム

社会情勢や財政状況、市民ニーズを踏まえ、有効性や戦略性といった観点から、より効率的かつ効果的な行財政運営を推進することで、市民幸福度の高い市政運営が実現する。

多様な媒体を通じた広報活動の推進

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

戦略課題の目標

市民と行政の協働により「まちの魅力」を掘り起し、また再発見し、広報誌やホームページ、Facebook 等の多様な媒体を使って市の内外に発信するとともに、広報活動を一方通行の単なる「お知らせ」ではなく、行政活動の過程や成果をわかりやすく説明するなど、市民と行政との双方向のコミュニケーション手段として活性化していく。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

施策推進上の目標

- ※1. 写真を中心とした新たな季報（情報誌）や市の魅力を満載したフリーペーパーを発行し、まちの魅力や市民の取組などを市の内外に発信する。
- ※2. CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)を導入し、公式ホームページのレイアウト等統一性を向上させ、見やすく、わかりやすい工夫を行う。また、コミュニケーション手段として Facebook 以外にツイッター、LINE を開始する。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトプット

- ※1. フリーペーパー、季報を 3 万部作成する。
- ※2. レイアウト等が統一された公式ホームページの作成と、ツイッター、LINE のフォロワー件数 1,000 件を目標とする。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトカム

市民が市政に関心を持ち、積極的に市政に参加できる環境を整える。また、市民が「まちの魅力」を誇りに感じ、住んでみたい、住み続けたいまちとして、市民満足度が高まる。